

中国漢方で妊活応援!!



周期調節法なら、生理周期にあわせて漢方を飲み分けるから体調の変化がすぐわかる。生理の調子や体温が整いやすく、妊娠力アップに役立てることができます。さらに、体質を考慮することによって、あなたにぴったりの飲み方で服用できます。自然のものだから病院の治療とも併用して。試飲もできますよ。



国際中医専門員の
女性アドバイザーが応相談。
漢方養生法もアドバイスいたします。
妊娠中・産後のお悩み・男性不妊も
気軽にご相談くださいね。



ありませんか?
こんな症状



PMS(月経前症候群)

生理前ならではのつらい症状

排卵期を過ぎた頃からおきる、下腹部やわきの張ったような痛み、イライラや落ち込み、のぼせやたちくらみなど。漢方では、気のめぐりの滞った肝鬱気滞と考えます。気滞は、病気ではないですが、プロラクチンが高くなったり、排卵がわかりにくくなることも。また、妊活のストレスをさらに強く感じがち。気になる方は、リラックスのため、気滞の改善をおすすめします。



漢方豆知識 「風邪」は百病の長

よく風邪は万病のもとといいますがね。漢方での風邪は、ほかの邪(寒熱など)と一緒にあって体を害し、風寒(ゾクゾク風邪)や風熱(花粉症など)をひきおこします。体の中で風邪が強くなると(内風)、めまいなどが起きやすくなります。風の強い春は、風邪のトラブルが起きやすい時期。衛気(バリア力)などを強くして、防ぎましょう。

よくある漢方

Q&A

漢方、どんな時、
Q. どう取り入れればいいのか?

A. 漢方は予防や体質強化が得意。風邪や花粉症を防ぎたい・病院に行くほどでもないけど不調が多いときなどにピッタリ。シロップや・粒など、時間がなくても簡単に飲めるものが多いですよ



女性の体とメンタルの不調は漢方で改善